

テーマ：『 自然と豊かにかかわり、環境を大切にしようとする子の育成 』

平塚市立 土屋小学校

Tel. 0463-58-1414

担 当 田中 尚代  
者：



■実践内容：

土屋小学校は、豊かな自然環境を生かし、自然とふれあう様々な活動や学習に取り組んできた。各学年の農園では、夏野菜、落花生、サツマイモ、大豆、米、そば等を栽培した。低学年は、サツマイモ料理や梅ジュース作りに取り組み、中学年は、収穫した大豆を使った豆腐作りを初体験した。高学年は、水田やそば畑を自ら作り上げ、種まきから収穫までの米やそば作りの苦労を体験した。また本校では、一人一鉢の菊作りにも取り組んでいる。使用する腐葉土は、児童が集めた落ち葉を利用した手作りの腐葉土である。地域の方に指導していただき、秋にはざる菊や一本立て、三本立ての見事な大輪の菊の花を咲かせることができた。さらに、昨年度から、委員会活動や理科学習の一環として、児童が校舎壁面にひょうたんやゴーヤを植え、グリーンカーテンを設置している。

■実践成果：

体験活動を多く取り入れ、種まきなどから時間をかけて植物の栽培活動を行ったところ、児童は、毎日生長する植物の様子を楽しみに観察し、どの子も興味を持って主体的に自然とかかわることができた。また、グリーンカーテンやリサイクル活動により、児童は環境問題にも関心を持ち、身近な環境を大切に守っていこうという意識が芽生えてきた。

■実践ポイント：

児童の思いや願いを大切にするために、自分たちが育てたい作物を選んだり、自分たちで計画したりする活動を重

視し、支援した。また、専門家である地域の方と多くふれあい、連携を図ることでさらに児童の活動が深まり広がった。